

# 真澄会報

発行所  
横浜市西区岡野1-5-8  
神奈川県立  
横浜平沼高等学校  
同窓会 真澄会  
発行責任者 鈴木宏司  
印刷 (株) サラト

真澄会ホームページ  
http://www.masumikai.org

同窓会の皆様は皆様の会費で運営しています。会費納入にご協力ください。

## 年会費2,000円に 総会で値上げ承認



### 終身適用70歳から 今回総会 全員配布

平成27年度真澄会総会が5月17日(日)母校小ホールで開催され、年会費を現行の千円から2千円に値上げする事が承認された。終身年齢適用も65歳から70歳に引き上げとなる。大幅な会則改正を周知するため、今回総会には全員配布となった。

総会には約50人が出席。鈴木会長は、「小野校長のもと、母校との良き関係が築けている。母



また昨年経費削減のため、全員配布は3年一度、会費未納者は2年間送付しないなどの決定を受けているが、今回は全員配布するとの承認もいただいている。ご理解をいただきたい」と挨拶された。

### 経費削減も限界

### 財務検討委員会

真澄会会則第6条第1項(2) 会費年額2,000円(1,000円)、第3項終身会費適用年齢を70歳(65歳)に達する年からとする。  
平成27年5月17日改正(かつこ内は旧条文)

4月19日評議員会にて、第4号議案(会則6条・会費に関する条文)の改正案と会報配布にかかる修正動議が承認された。

5月17日の総会でもそれを受けた同議案が承認された。よって今後値上げによる収入増を計り、真澄会の健全な運営と発展を期したいと考えている。

至るとの危機感から、平成25年度に財務検討委員会を設置し財政再建について多角的に検討を重ねてきた。まず、経費削減の方策を探り可能な費目は直ちに削減について実行した。しかしながら、それにも限界があり、経費の大きな割合を占める会報送料(25年度事業費の約35%)の削減(昨年度の総会決定事項、「会報全

費未納者には2年間は送付しない。今年度は全員送付しない)に踏み込むという苦渋の決断をした。これら工夫を重ねても財政基盤健全化の道は険しく、値上げ等の収入増を図らねば、早晚事業の縮小を余儀なくせざるを得ない状況にある。また、今後の経済情勢も踏まえ、以下の要因も考察される。

- ①消費増税等による個別経費支出増(平成29年4月から10%に再増)
- ②会費納入率の低減による資産の減少(平成26年度の資産増は、一時的現象)
- ③エアコン等、真澄会室備品機器類の経年劣化による修繕費増
- ④充実した同窓会活動継続のための資金確保(母校支援、歴史資料室、周年事業等への基金の充実)

その結果、「会費値上げをせざるを得ない」との結論に達した。なお、57号から、役員退任役員顧問 野村 脩(50期) 地代所達也(59期)

昨年度の会報において真澄会の財政状況について述べさせていただきましたが、今年度の評議員会、総会で年会費を1,000円から2,000円へ値上げする事が承認されました。これもひとえに皆様方のご理解とご協力の賜物と厚く御礼申し上げます。

平成23年度評議員会での年度予算審議において、ある評議員の方



### 財政基盤の確立に向けて 会長 鈴木宏司(59期)

「処すべき」との誠にご尤もなご意見がありました。そこで、過去10年間程の予算・決算書を見直し、他校の状況を調べたり致しま

て26年度までの2年間検討して参りました。その間、並行して数々の支出の節減にも取り組まれました。皆皆様方のご協力を得ながら財政基盤の確立に努め

て参りたいと存じます。今年度で任期満了となります。会長として会報にてご挨拶申し上げます。最後にさせていただきます。真澄会会則に会費の目的として「本会は、会員相互の親睦を図り、母校の発展に寄与し、併せて社会の福祉に貢献することを目的とする」とあります。私は前職が教員だったせいか、知らず知らずの内にこの目的の2番目、学校との関係

に力点を置いて来たように思います。特に、同窓の校長が来られてからは一層その感を強くします。学校と同窓会の関係が大変スムーズに運ばれている現状を鑑みるに付け、小野校長(71期)のご配慮に厚く御礼申し上げます。

一方、1番目と3番目、特に1番目の「会員相互の親睦について」は、やや疎かになったのではと反省しております。結果的に次

から募った広告を掲載収入増を図ることにした。評議員会での修正動議 評議員会では、活発な議論が交わされ、値上げは止むなしとしても、会則改正の結果を全会員に周知する必要がある。前年度の決定を覆してでも、会報の全員配布が望ましいとの修正動議が提出され、多くの賛成を得た。

会費納入及び広告掲載への協力をお願いしている。会員からは「値上げはやむなし、経費削減の努力を加え、事業の縮小にならぬような運営をして欲しい」との暖かいご意見もいただいている。会費納入率向上とそれに加えて広告掲載についてもご協力をよろしくお願ひいたしたい。会員の皆様に負担増をお願いすることにはなるが、今後とも皆様のご理解を得る努力を重ねて行き、一層のご支援とご協力を賜りたい。

副会長 松永 弘子(57期)

少への対応、まなびや基金による体育館施設修繕などについて話され、最後に篠田新教頭が紹介された。議長として平井洋子理事(71期)が選出され審議に入った。様々な意見が交わされ、値上げ及び終身会費

に關する第4号議案会則改正が賛成多数で承認された。(詳細は財務検討委員会の報告をこらんなさい) 全員配布の発行部数、配送料が反映された第3号議案(事業計画案)、第5号議案(予算案)も承認された。よって第1号議案(事業報告)第2号議案(決算報告)も含めて各議案はすべて賛成多数で承認された。質問・意見としては、決算に関して先輩セミナー、校歌祭の支出内訳、奨学金返済等 入会金、会費免除年齢

会費値上げ増収策を図る一方で会報全員配布を3年に一度にするのはいかかなものか、等があった。最後に、会長から野村脩顧問(50期)退任の報告があり、労をねぎらった。

総会に先立ち、恩師渡邊榮一先生による「新制平沼高校男女共学の揺籃期」の講演があった。ご持参の当時の教員集合拡大写真を懐かしそうに見入る人が多かった。

元氣いっぱいボーカルユニット「COCO」で会場はノリノリ 会場を横浜国際ホテルに移して懇親会が開催された。新入会員(112期生)16名、来賓を含めて82名が出席、和やかに懇談やアトラクションを楽しんだ。今年度は小林陽子さん(79期)のひきいるボーカルユニットが出演、歌いながらのパフォーマン

スに112期生が加わり会場は盛り上がった。最後に出席者全員が肩を組み、手をつなぎ、輪になって校歌を斉唱、112期生の若々しいエールで閉会となった。

朝 家人より 早くに起き、簡単な朝食を摂りながら新聞を読むのは長年の習慣であり至福のひとつである。 かく新聞好きの私が「真澄会報」に携わるようになったのは、何かの縁かと思っている。 勿論、読むと作るのでは大違い。スペース配分を誤り、寄稿文を大幅に削除したり、氏名の漢字を間違えたりと、会員に不快な思いをさせたことも多々ある。 毎年、3月頃の企画から始まって6月、7月と広報委員は原稿集めと編集のために熱く燃える。文章をいかに読みやすく伝えるか、助詞の使用方ひとつでも侃侃諷諷となる。8月初旬に印刷業者に最終校正を渡すまで息を抜けない。 52号と53号が記憶に残る。52号は110周年記念事業の一つ、「特集号」中折のカラー頁4・5面を使い当時の広報委員長の井嶋清吉さん(通9)による斬新なレイアウトが目玉だった。53号は東日本大震災の様子を伝えた。また、110周年記念コンサートに関わった方々の協力により、全出演者の顔写真とコンサートの様子をカラー頁で掲載した。 現在の新聞形式で発行されたのは昭和38年からで、会報の歴史は山口精一顧問(52期)が書かれた「真澄会報戦後略史(昭和29年)」に詳しく書かれている。 57号は広告を掲載、頁数を増やすなど、新たなスタートでもある。諸先輩の努力を引き継ぎ、この会報が真澄会員の絆の要であり続けることを願っている。

### 振子

朝 家人より 早くに起き、簡単な朝食を摂りながら新聞を読むのは長年の習慣であり至福のひとつである。

**平成28年度 総会・懇親会のご案内**  
会 日 時 平成28年5月15日(日) 13時より  
会 場 所 母校小ホール  
懇親会 日 時 平成28年5月15日(日) 16時より  
会 場 所 横浜国際ホテル  
会 費 5,000円(当日集めます)  
申込み 参加希望者は必ず事前に申込の上、総会にもご出席下さい。  
〒220-0073 横浜市西区岡野1-5-8 横浜平沼高校内 真澄会  
TEL 045-311-3356  
FAX 共用  
(火曜日10時~15時のみ在室)  
事務局メール(アドレスは8面)

評議員会報告

平成27年4月19日(日) 定例評議員会が母校小ホールにて開催され、議長に豊田哲志さん(75期)を選出、次の議案について審議が行なわれました。第1号議案・第2号議案・第3号議案第4号議案について...

野崎敦子さん(40期)のミニコンサート 5月23日(金) 母校「体育祭」応援合戦審査員 7月5日(土)6日(日) 母校「平沼祭」に歴史資料展示室開室 9月1日 真澄会報56号発行 22,400部 10月12日(日) 第9回青春かながわ校歌祭参加(横須賀芸術劇場) 11月13日(木) 先輩セミナー後援 12月5日(金) 新会員となる、112期クラス代表と懇談会 1月8日(木) 母校との新年懇談会 3月15日(日) 評議員のみなさまへ発行

【母校支援・後援】 卒業生に記念品贈呈(校歌・応援歌のCD) 母校行事後援、出席、祝い金等贈呈 活躍する部活動生徒へ激励金贈呈 歴史資料展示室運営協力 「まなびや基金」募金の協力(継続)

【収入の部】 前期繰越金 391,516 26年度決算 391,516 決算-予算 0 入会金 1,080,000 1,108,000 28,000 年会費 4,500,000 4,509,502 9,502 年会費(終身分) 700,000 1,380,000 680,000 小計 6,280,000 6,997,502 717,502

【支出の部】 総会費 200,000 221,020 △21,020 諸会議費 300,000 436,082 △136,082 会報発行費 3,500,000 3,490,516 9,484 行事費 200,000 145,454 54,546

【収入の部】 前期繰越金 52,957 27年度予算 52,957 入会金 1,080,000 年会費 6,000,000 年会費(終身分) 200,000 小計 7,280,000

【支出の部】 総会費 200,000 諸会議費 400,000 会報発行費 3,700,000 行事費 200,000 県内同窓会交流費 150,000 母校行事後援費 150,000 支部等後援費 50,000 歴史資料展示室 100,000

目的別積立明細書 自平成26年4月1日 至平成27年3月31日 単位:円

内訳	前期繰越金	当期増加	当期取崩	次期繰越金
終身会費積立金	8,193,000	1,380,000	560,000	9,013,000
母校後援積立金	5,000,374	0	260,000	4,740,374
歴史資料室積立金	1,100,000	0	193,672	906,328
周年事業準備金	0	0	0	0
ますみ基金(奨学金等)	20,140,000	1,000,000	140,000	21,000,000
総合計	14,293,374	1,380,000	1,013,672	35,659,702

弁護士 庄司道弘 (62期) 事務所: 横浜市中区南仲通1丁目6番 関内NSビル2階 TEL 045(212)1233 FAX 045(212)2233

各種記念品、贈答品、専門店 ゴルフコンバ、カップ、トロフィー、襪、食品一式、販促品、バッグ 工芸品、名入タオル、作業衣、洋品等

株式会社 野地商店 横浜西区花咲町4丁目107番地 TEL.(045)231-1112(代表) FAX.(045)231-1293 野地映人 (51期)

終身会費納入者 平谷 扶美子 (51) 新谷 亨子 (51) 神山 富代 (51) 近藤 裕子 (52) 牛山 裕子 (53) 勝海 貞夫 (54) 池田 和子 (54) 清水 節子 (54) 関田 賀寿子 (55) 関口 禎子 (55) 中島 治子 (55) 土井 美智代 (56) 平山 清司 (56) 岡村 康子 (57) 矢野 宣道 (57) 渡辺 博子 (57) 村岡 紘美 (58) 石川 和枝 (58) 井上 芳子 (58) 平野 聖子 (59) 柳谷 朋子 (59) 高橋 正浩 (60) 秋山 比呂子 (60) 木村 加代 (60) 内田 淑子 (61) 阿部 美也子 (61) 望月 美子 (62) 桂 英里 (62) 吉澤 春美 (62) 協屋 まり (63) 吉田 三ツル (63) 伊東 多満喜 (63)

# 学校だより

## 心から感謝

校長 小野 力



真澄会の皆様には、日頃から母校の生徒並びに学校教育活動全体に対して、ご支援とご協力を賜り、在校生並びに保護者、教職員一同、心から感謝申し上げます。

さて、母校では、3月3日に112期生275名が卒業し、4月7日に115期生277名が希望を胸に入学してまいりました。

現在、男子225名、女子607名、合計832名となっております。男子が3割を下回ってしまいました。元氣な男子が各種行事を引っ張っています。

4月は健康診断が行われたり、新1年生は真澄会委員の方から校史教育の講義を受けました。

部活動では女子ハンドボール部が3月に愛知県で開催された「全国選抜大会」に2年ぶりに出場しました。また今年度は4年連続で関東大会出場を決めるなど安定した活動状況です。

また、陸上部、女子バスケット部やバドミントン部などが県大会に出場する頑張りを認めています。更に吹奏楽部・ダンス部・演劇部・かるた部などの文化部も活発に活動しています。5月22日(金)快晴の中「第14回体育祭」を実施しました。今年は昨年に続き、応援賞・総合優勝を夏組が獲得しました。

7月4・5日に文化祭が開催されました。7

4月は健康診断が行われたり、新1年生は真澄会委員の方から校史教育の講義を受けました。

さて、生徒が安全・安心な学校生活を送れるよう校内の整備を進めたいと考え、卒業生の皆様に「学びや基金・平沼高校指定」募金をお願いし、昨年度は体育館の照明器具の修理や窓の修理などを行いました。心から感謝申し上げます。まだまだ整備したい箇所がありますので、今後も目標達成まで、寄付を呼びかけたいと考えています。詳しくは母校ホームページ(校長からのお願い)をご覧ください。引き続き皆様のご理解とご協力、ご支援をよろしくお願い申し上げます。

月中旬からの三者面談を経て、いよいよ3年生は進路の選択という人生の重要な時期を迎えます。

先日、体育祭において、事前に聞いていた「ファウスト」を見ることができました。生徒たちが一生懸命に踊っている姿を見て感動するとともに、歴史と伝統を肌で感じる事ができました。それに加え、脈々と受け継がれてきたものに対する尊敬の念だけでなく、伝統の継承に尽力されている真澄会の存在の大きさを感じることができました。

この4月1日付けで横須賀明光高等学校より新任の教頭として着任しました。篠田と申します。縁のある横浜の地に、5年ぶりに戻ってきました。



着任に際して  
教頭 篠田 聡

今までの私にとって横浜平沼高等学校とは、遠くから憧れをもって見つめる存在でありましたが、このたび教頭という責任ある立場で赴任し、改めて自らに課せられた職責の重さを痛感しているところであります。

この伝統の力が息づいている横浜平沼高等学校が益々発展しますように、教職員と連携しながら、微力ではございますが全力で職務に励んでいく所存です。今後ともご指導、ご協力の程よろしくお願いたします。

平成27年度入学者数	
男子	78人
女子	199人
合計	277人
平成26年度卒業生数	
男子	91人
女子	184人
合計	275人

私立大学合格者 (上位30校)	
明治大学	62人
合計	26人
一橋大学	1人
東京農工大学	1人
東京工業大学	1人
東京芸術大学	1人
電気通信大学	1人
秋田大学	1人
横浜国立大学	2人
東京外国語大学	2人
千葉大学	2人
神奈川保健福祉	3人
首都大学東京	3人
東京学芸大学	3人
横浜国立大学	5人
国公立大学合格者	277人

## 2014 進路状況

年度	国立大学		公立大学		私立大学		短期大学		専門学校等	
	合格	進学	合格	進学	合格	進学	合格	進学	合格	進学
現役生	14	14	8	7	717	208	3	2	8	7
過年度生	4	4	0	0	108	20	0	0	3	3
合計	18	18	8	7	825	228	3	2	11	10

### 活躍する在校生

平成26年度下半期ダンス部  
第7回日本高校ダンス部選手権決勝大会(団体) 入賞

弓道部  
第33回関東高等学校弓道選手権選抜大会(個人) 入賞

美術部  
第18回きものデザインコンクール(個人) 入賞

かるた部  
第21回関東地区高等学校小倉百人一首かるた大会(個人) 入賞

女子ハンドボール部  
関東高等学校ハンドボール大会(団体) 入賞

### 夏の高校野球県大会 新生野球部初戦敗退

夏の高校野球県大会 新生野球部初戦敗退 秦野球場

平沼の左腕梅村投手は1回から6回まで、危なげなく無安打に抑えていた。7回4球の梅村が左翼前ヒットで1点をもぎ取った。8回表、山北は平沼の守備の乱れもあり、9番伊藤楓が2塁打で同点に追いついた。

延長に入り、梅村投手は山北打線の集中打を浴び、9番の伊藤楓が左翼線に2塁打を放ち2点を追加。

平沼の反撃もむなしく、無念の敗戦となった。横浜平沼は安打数9、山北の6を上回っていたが、決定打に欠けていた。4月就任した内田雄斗新監督も苦しい初戦敗退。秋の県大会を目指し、戦力アップに期待する。

広報 若杉 晃(53期)

### 初めてのグアム修学旅行

今年度の修学旅行は、夏の島「グアム」に行ってきました。生徒たちにとって、あつという間の4日間だったのではないのでしょうか。当日を迎えるうえで不安だったのが台風です。誰もが祈るような思いで夜を明かしたことでしよう。その思いが報われたのか、驚くような早さで台風のスピードが上ががり、成田空港に

向かう時点で青空が見えるほどでした。グアムに到着し、「Kマート」という大きなスーパーへ向かいます。ここは、グアムでの4日間に必要な物がほぼ揃うといっても過言ではないくらいの商品揃いのお店です。日本産の商品も多く見られました。値段はやはり高めでしたが、(それなのに爽健美茶をまとめ買いしている人も...)。2日目は、平和学習です。日本とグアムの歴史が報われたのか、驚くような早さで台風のスピードが上ががり、成田空港に

言っても過言ではない、太平洋戦争に関わる5つの場所を訪れました。夜は、ナイトマーケット「チャモロ・ビレッジ」で各自夕食をとりました。さまざまなチャモロ料理を味わいながら、民芸品などのお土産を買うことができます。そろそろ日本食が恋しくなってきたかなというところで2日目は終わりました。

3日目は「ココス島」という島を貸し切って過ごす日でした。水が透き通る海で過ごす時間は忘

入った玉が少ない組が勝ちという「玉入れ」は分教室の生徒達と3年生が手を繋いで傘の中に玉を投げ入れる。

午前最後の種目は伝統の「ファウスト」記者を50年前の優雅な世界に戻してくれた。

対照的に午後一番の応援合戦は見事なダンスパフォーマンスをフィニッシュに広がり、各組とも甲乙をつけ難い見事な演でビデオカメラを回す父兄で審査員席から全体を見ることが困難なほどであった。

順位は夏組が完全優

勝、2位は秋組、3位は春組、4位が冬組。全力を出し切った生徒達の満足した笑顔、涙などかつての平沼の伝統・息吹を感じた楽しい一日であった。

広報 皆藤 慎一(62期)

### 第14回復活体育祭

夏組連覇完全優勝 「武士の心を呼び戻せ」がテーマ

平成27年5月22日(金)体育祭が開催された。ちなみに玉入れは「大奥の復讐」、応援合戦は「四国志」。借り物競争は「刀狩り令」といった具合。

春夏秋冬の各組長による選手宣誓、応援団長によるエール交換で盛り上がり大きな歓声が沸いた。

最初の女子競技、大奥の復讐は籠を背負った組長(男性)が逃げ回り、籠に

### 第39回平沼祭

正門を入ると「シンデレラ階段」があることから映画「シンデレラ」をモチーフにテーマは「The True magic inside you」、日本語に訳すと「本当の魔法はあなたの心の中心」としたそうである。

平沼祭は平成27年7月4日(土)5日(日)の両日に開催された。あいにくの雨模様にもかかわらず多くの来客で賑わっていた。

小ホールでは3年生各組、応援団、ダンス部、演劇部、オーケストラ部などの公演が行われていた。

シンデレラ階段を上がるとうどんのコーナーがあり食指をそそられるが、列に並びず左折して校舎の中へ、校舎の中では飲食、アトラクション、展示、販売などなど生徒自ら楽しんでる様子が伺われた。

シンデレラ階段を上

り右へ曲がると歴史資料展示室があり、「戦後70年戦中・戦後の学校と生徒」をテーマとした展示が行われ多くの方が資料に見入っていた。二日間で800名を超える入室者があった。また、真澄会室にはかつての平沼生が集い懇談の輪が広がっていた。

広報 皆藤 慎一(62期)

勝、2位は秋組、3位は春組、4位が冬組。全力を出し切った生徒達の満足した笑顔、涙などかつての平沼の伝統・息吹を感じた楽しい一日であった。

広報 皆藤 慎一(62期)

職員異動	
着任者	篠田 聡
転出者	水野 昌亨
数学	西村 太朗
英語	長谷川 有希子
国語	高橋 祐介
社会	山本 孝幸
理科	加藤 哲彦
体育	三浦 みどり
音楽	馬場 真史
保健	横須賀明光
事務	山口 三恵子
英語	長谷川 有希子
国語	高橋 祐介
社会	山本 孝幸
理科	加藤 哲彦
体育	三浦 みどり
音楽	馬場 真史
保健	横須賀明光
事務	山口 三恵子
英語	長谷川 有希子
国語	高橋 祐介
社会	山本 孝幸
理科	加藤 哲彦
体育	三浦 みどり
音楽	馬場 真史
保健	横須賀明光
事務	山口 三恵子
英語	長谷川 有希子
国語	高橋 祐介
社会	山本 孝幸
理科	加藤 哲彦
体育	三浦 みどり
音楽	馬場 真史
保健	横須賀明光
事務	山口 三恵子
英語	長谷川 有希子
国語	高橋 祐介
社会	山本 孝幸
理科	加藤 哲彦
体育	三浦 みどり
音楽	馬場 真史
保健	横須賀明光
事務	山口 三恵子
英語	長谷川 有希子
国語	高橋 祐介
社会	山本 孝幸
理科	加藤 哲彦
体育	三浦 みどり
音楽	馬場 真史
保健	横須賀明光
事務	山口 三恵子
英語	長谷川 有希子
国語	高橋 祐介
社会	山本 孝幸
理科	加藤 哲彦
体育	三浦 みどり
音楽	馬場 真史
保健	横須賀明光
事務	山口 三恵子
英語	長谷川 有希子
国語	高橋 祐介
社会	山本 孝幸
理科	加藤 哲彦
体育	三浦 みどり
音楽	馬場 真史
保健	横須賀明光
事務	山口 三恵子
英語	長谷川 有希子
国語	高橋 祐介
社会	山本 孝幸
理科	加藤 哲彦
体育	三浦 みどり
音楽	馬場 真史
保健	横須賀明光
事務	山口 三恵子
英語	長谷川 有希子
国語	高橋 祐介
社会	山本 孝幸
理科	加藤 哲彦
体育	三浦 みどり
音楽	馬場 真史
保健	横須賀明光
事務	山口 三恵子
英語	長谷川 有希子
国語	高橋 祐介
社会	山本 孝幸
理科	加藤 哲彦
体育	三浦 みどり
音楽	馬場 真史
保健	横須賀明光
事務	山口 三恵子
英語	長谷川 有希子
国語	高橋 祐介
社会	山本 孝幸
理科	加藤 哲彦
体育	三浦 みどり
音楽	馬場 真史
保健	横須賀明光
事務	山口 三恵子
英語	長谷川 有希子
国語	高橋 祐介
社会	山本 孝幸
理科	加藤 哲彦
体育	三浦 みどり
音楽	馬場 真史
保健	横須賀明光
事務	山口 三恵子
英語	長谷川 有希子
国語	高橋 祐介
社会	山本 孝幸
理科	加藤 哲彦
体育	三浦 みどり
音楽	馬場 真史
保健	横須賀明光
事務	山口 三恵子
英語	長谷川 有希子
国語	高橋 祐介
社会	山本 孝幸
理科	加藤 哲彦
体育	三浦 みどり
音楽	馬場 真史
保健	横須賀明光
事務	山口 三恵子
英語	長谷川 有希子
国語	高橋 祐介
社会	山本 孝幸
理科	加藤 哲彦
体育	三浦 みどり
音楽	馬場 真史
保健	横須賀明光
事務	山口 三恵子
英語	長谷川 有希子
国語	高橋 祐介
社会	山本 孝幸
理科	加藤 哲彦
体育	三浦 みどり
音楽	馬場 真史
保健	横須賀明光
事務	山口 三恵子
英語	長谷川 有希子
国語	高橋 祐介
社会	山本 孝幸
理科	加藤 哲彦
体育	三浦 みどり
音楽	馬場 真史
保健	横須賀明光
事務	山口 三恵子
英語	長谷川 有希子
国語	高橋 祐介
社会	山本 孝幸
理科	加藤 哲彦
体育	三浦 みどり
音楽	馬場 真史
保健	横須賀明光
事務	山口 三恵子
英語	長谷川 有希子
国語	高橋 祐介
社会	山本 孝幸
理科	加藤 哲彦
体育	三浦 みどり
音楽	馬場 真史
保健	横須賀明光
事務	山口 三恵子
英語	長谷川 有希子
国語	高橋 祐介
社会	山本 孝幸
理科	加藤 哲彦
体育	三浦 みどり
音楽	馬場 真史
保健	横須賀明光
事務	山口 三恵子
英語	長谷川 有希子
国語	高橋 祐介
社会	山本 孝幸
理科	加藤 哲彦
体育	三浦 みどり
音楽	馬場 真史
保健	横須賀明光
事務	山口 三恵子
英語	長谷川 有希子
国語	高橋 祐介
社会	山本 孝幸
理科	加藤 哲彦
体育	三浦 みどり
音楽	馬場 真史
保健	横須賀明光
事務	山口 三恵子
英語	長谷川 有希子
国語	高橋 祐介
社会	山本 孝幸
理科	加藤 哲彦
体育	三浦 みどり
音楽	馬場 真史
保健	横須賀明光
事務	山口 三恵子
英語	長谷川 有希子
国語	高橋 祐介
社会	山本 孝幸
理科	加藤 哲彦
体育	三浦 みどり
音楽	馬場 真史
保健	横須賀明光
事務	山口 三恵子
英語	長谷川 有希子
国語	高橋 祐介
社会	山本 孝幸
理科	加藤 哲彦
体育	三浦 みどり
音楽	馬場 真史
保健	横須賀明光
事務	山口 三恵子
英語	長谷川 有希子
国語	高橋 祐介
社会	山本 孝幸
理科	加藤 哲彦
体育	三浦 みどり
音楽	馬場 真史
保健	横須賀明光
事務	山口 三恵子
英語	長谷川 有希子
国語	高橋 祐介
社会	山本 孝幸
理科	加藤 哲彦
体育	三浦 みどり
音楽	馬場 真史
保健	横須賀明光
事務	山口 三恵子
英語	長谷川 有希子
国語	高橋 祐介
社会	山本 孝幸
理科	加藤 哲彦
体育	三浦 みどり
音楽	馬場 真史
保健	横須賀明光
事務	山口 三恵子
英語	長谷川 有希子
国語	高橋 祐介
社会	山本 孝幸
理科	加藤 哲彦
体育	三浦 みどり
音楽	馬場 真史
保健	横須賀明光
事務	山口 三恵子
英語	長谷川 有希子
国語	高橋 祐介
社会	山本 孝幸
理科	加藤 哲彦
体育	三浦 みどり
音楽	馬場 真史
保健	横須賀明光
事務	山口 三恵子
英語	長谷川 有希子
国語	高橋 祐介
社会	山本 孝幸
理科	加藤 哲彦
体育	三浦 みどり
音楽	馬場 真史
保健	横須賀明光
事務	山口 三恵子
英語	長谷川 有希子
国語	高橋 祐介
社会	山本 孝幸
理科	加藤 哲彦
体育	三浦 みどり
音楽	馬場 真史
保健	横須賀明光
事務	山口 三恵子
英語	長谷川 有希子
国語	高橋 祐介
社会	山本 孝幸
理科	加藤 哲彦
体育	三浦 みどり
音楽	馬場 真史
保健	横須賀明光
事務	山口 三恵子
英語	長谷川 有希子
国語	高橋 祐介
社会	山本 孝幸
理科	加藤 哲彦
体育	三浦 みどり
音楽	馬場 真史
保健	横須賀明光
事務	山口 三恵子
英語	長谷川 有希子
国語	高橋 祐介
社会	山本 孝幸
理科	加藤 哲彦
体育	三浦 みどり
音楽	馬場 真史
保健	横須賀明光
事務	山口 三恵子
英語	長谷川 有希子
国語	高橋 祐介
社会	山本 孝幸
理科	加藤 哲彦
体育	三浦 みどり
音楽	馬場 真史
保健	横須賀明光
事務	山口 三恵子
英語	長谷川 有希子
国語	高橋 祐介
社会	山本 孝幸
理科	加藤 哲彦
体育	三浦 みどり
音楽	馬場 真史
保健	横須賀明光
事務	山口 三恵子
英語	長谷川 有希子
国語	高橋 祐介
社会	山本 孝幸
理科	加藤 哲彦
体育	三浦 みどり
音楽	馬場 真史
保健	横須賀明光
事務	山口 三恵子

# 支部だより

## 仙台支部

齊藤 彰世(66期)

平成27年6月14日(日)第64回仙台真澄会が仙台駅近くの和風レストラン「寿司波奈」で開催されました。

出席者は相澤英子さん(43期)、早坂祥子さん(48期)、茂庭房子さん(53期)、松岡千代子さん(57期)、稲村真理子さん(62期)と齊藤彰世(66期)の6名。

第一高女や平沼高校時代の名物先生の話や、宮城に引越して来た際言葉の違いにとまどったなどいろいろな話題がでしたが、やはり最後は健康をいかに保つかが一番の関心事です。定期的な運動や食事に気をつけ元気でまた会える事を願って、午後2時過ぎ頃解散しました。



## 埼玉支部

加藤(高橋)真理(67期)

平成26年5月18日(日)25名の参加で、「小江戸川越めぐり」を実施しま

した。

喜多院では、ボランティアアガイドさんの解説を聴きながらの見学。徳川三代將軍家光誕生の間、春日局の間などでは、新しい知識を得て、五百羅漢と対面し、我が身を重ね合わせて日頃の不摂生を反省、「川越城本丸住居絵図」を見て、古の壮大な川越城に思いを馳せました。



蔵造りの町並みの一角にある「吉寅」では、大先輩のパワー溢れるお話を頂戴しました。また、初めて参加頂いた方々の貴重な体験を伺うことができ、2時間の総会があつたという間に過ぎてしまいました。

埼玉支部会では毎年、楽しい会にするための企画に頭を悩ませております。会員の皆様のアイデアを是非お寄せください。

## 千葉支部

柴田 勝(60期)

平成27年5月9日千葉支部の総会を開催した。今回は松戸市の「戸定が丘歴史博物館」にある

国指定重要文化財「戸定邸」と「戸定歴史博物館」を見学の後、近くの中華料理店「竹琳ツーリン」にて総会と懇親会を開催するというスケジュール。



総勢14名の参加で遠く県外からの参加もあったが、残念ながら第一高女時代の先輩の参加はなかった。

支部長から会計報告と真澄会費の納入のお願いがあり、県外の行田市から参加の磯貝さんに、千葉支部行田出張所長という辞令を交付。議事はすべて全員了承で総会を終了し懇親会となった。自己紹介から始まり、今回初めて参加された方もすぐに打ち解けて歓談は弾み懐かしい先生方の話やら、昔の高校生活の思い出、現在の生活や趣味の話などで盛り上がり、思ひもよらぬ繋がりにつづりたりして大いに楽しい時間を過ごしました。来年も5月に開催予定です。是非ご参加ください。(報告:鈴木美佐男50期)

## 西湘支部

與本(根本)淳子(77期)

平成26年11月10日に恒例の支部会が行われました。今年は総勢15人でした。まず大雄山駅に集合し、大雄町の10年目となる、さる菊祭りへ。さる菊とは、小ぶりの花がさるをふせたようにびっしりと咲いている菊で、菊の

香りと湧き水の響きに癒されました。

そこからモダン湯治スライルの温泉旅館おんりーゆーに移動して、地元のあるヘルシーなランチをいただきました。この旅館は桜井文子さん(64期)のご主人が経営されており、とても人気のあるスポットです。ずっと元氣プロジェクトに黒岩県知事が視察に見えられたとのこと。

食事の後個室に移り、小野剛さん(51期)のマジックを楽しみました。小野さんはボランティアで小学校などを回ったりされ、ほのぼのとしたマジックでした。私は5年ぶりの参加でしたが、素敵な方ばかりで平沼高校でよかったですと改めて思いました。いつも企画準備してくださる安藤和夫・澄子さんご夫妻(68期)に感謝します。



## 平塚支部

海藤 てる子(63期)

涼風の中、今年も真澄会平塚支部会を6月14日(日)梅雨の晴れ間に開催されました。場所は昨年と同じ大磯駅前(大磯迎賓館)という大正時代に建築された瀟洒な洋館なのでございます。久しぶりに会う楽しみ、諸先輩方からのお励みの

あるお言葉。どれもこれも新鮮。今回は三田会長様はご欠席で、始まりました。お互いの健康や学生生活の思い出について語り合い、あつという間に閉会の時間となつてしまいました。常々出席して思います事は、会話の中に人生の知恵や、ちよつとした生活のヒント等、とても気づかされる事ばかり。何か他では出会う事のない宝箱のようでございます。

さて、9月8日(火)に奥湯河原温泉(山翠楼)へ一泊旅行を予定しております。参加ご希望の方はぜひご連絡ください。



## 石川支部

深野 由美子(77期)

5月31日(日)に恒例の真澄会石川支部会を金沢ニューグランドホテルで行いました。今年アンサンブル金沢の今野さんは忙しく、今井さんは手術のため出られませんでした。3人でまたまた話が盛り上がり、お互いの子供の話や孫の話、海外旅行の話となりました。美味しい食事をとりながらお聞きした人生の話は大変勉強になりました。東京から金沢まで新幹線ができたため、テレビでは金沢の映像がよく映っていて、横浜からもたくさんの方が観光に来ているようです。まだ新幹線(かがやき)に乗ったことはありませんが、

林さんはグラウンクラスに乗ってとてもよかったです。

勤務している学校に入ろうとしたら新幹線が見えたので車を止めて見ていたら生徒に笑われました。来年もまたみんなで集まりたいです。



## 関西支部

濱口 敏夫(60期)

第33回関西真澄会を平成26年11月16日に梅田阪神百貨店10階の「筍粋」で昼12時より開催しました。参加者は51期小宮越、長岡三郎、天春富美枝(仁木)、高燕蘭(麦)、末廣春枝(武藤)、53期飯田二郎、54期宮崎和利、56期竹村栄子(小網)、60期近藤優美子(中村)、後藤翔子(有吉)、平井興二郎、濱口敏夫、63期中野知子(野田)の13名でした。残念なことには旧第一高女の方の出席は有りませんでした。が次回の出席をお待ちしています。

会は平井氏の司会、小宮会長の挨拶から始まり、各自の近況、思い出話や、竹村さんの趣味の作品、可愛い針山を皆で分け合ったりと、楽しいひと時を過ごすうち、長岡氏の閉会のお言葉で散会しました。

今年も11月15日(日)に例会の予定です。

## 新潟支部

小出 和子(65期)

6月27日11時より新潟駅前前のクオリスビルにおいて第14回支部総会を行いました。今年の出席者は、事務局担当の市川務さん(50期)、毎回出席して下さる池田三穂さん(62期)と私の3名だけでしたが、元気に再会できたことを喜び合いました。そして、それぞれの近況報告とともに、市川さんがロータリークラブの会長として活躍された話や、報道記者として政治家と一緒に国内外を飛び回っていた頃のエピソードや秘話などをお聞きしているうちに、あつという間に楽しい時間が過ぎてしまいました。

若い人達が参加し易くなる様に工夫すべき、との意見が出されました。

平成26年11月7日、なかーに12名集まる。40代から80代まで。女性は2人ほど。10年ぶりの人初めての人、現職の人をつかまえて時勢に疎い老人がうるさく尋ねる。話題は「何しているの?」人の意欲を糧にしたと思惑があつて、今も「学び取る」意識が働く。「資格取得に精を出す人、絵筆を握る人、手芸に巧みな人、売り上げに頭を悩ます人、何をなすべきか迷いながらも地域の集まりに顔を出す人、そして老妻の介護に明け暮れる二人も。「通信制の面白さ溢れる一時であつた。

## いすみ支部

浅野 敏治(通5期)

◆ 宅配で健康習慣ははじめよう ◆

meiji 明治牛乳特約店 四谷軒(販)

**長谷川商事株式会社**

横浜市西区中央1-32-2  
TEL 045(322)1922  
FAX 045(322)1923 長谷川 正(56期)



JASDAQ Listed Company 2406 株式会社 アルテ サロン ホールディングス 取締役会長 吉原 直樹(71期)

**Ash MAKE**

アッシュブランドは、横浜・銀座・渋谷・吉祥寺をはじめ、東京・神奈川・千葉・埼玉に全115店舗ございます。

アッシュ 美容室 検索

〒231-0031 横浜市中区万代町1-2-12 共立内開ビル8階 / TEL.045-663-6120 / FAX.045-663-6121

ONWARD

五大陸五人男

gotairiku

**フクナガ動物病院**

TEL 0748-33-5333

滋賀県近江八幡市中小森町308-27  
www.fukunaga-ah.com

月	火	水	木	金	土	日	祝
9:00~12:00	9:00~12:00	9:00~12:00	9:00~12:00	9:00~12:00	9:00~12:00	9:00~12:00	9:00~12:00
16:00~19:30	16:00~19:30	16:00~19:30	16:00~19:30	16:00~19:30	16:00~19:30	16:00~19:30	9:00~11:00 完全予約制

獣医師 福永めぐみ(103期)

縦のきずな OBC 同好会

柔道部

小笠原 豊 (73期)

わが柔道部は今年で創立65年、そのOBC会である平沼柔友会は創立48年目となる平沼で最も歴史のある運動部です。現在の部員は3年生1名、1年生3名と少ないですが顧問の太田先生のもと毎日の練習に励んでいます。隔月で現役とOBCの練習会を行っており、ここではひたむきに稽古する1年生の姿勢を昔の自分におきかえ懐かしく思うと同時に、1本の乱取りで息も絶え絶えの現実の自分がいるのですが、練習後に飲むビールはまた格別です。さて、本年の柔友会総会は4名の卒業生を迎え総勢37名で6月13日に中華街で開催されました。また、柔友会から平沼高校柔道場へ鏡を進呈させていただきました。



山岳部

山崎美喜夫 (61期)

共学の初期のころの卒業生達が週末に厳冬のアルプスをはじめ山々を廻った日々から60余年、いまでも熱心な会員の企

来たことです。お子さんたちの成長を共に喜び合いながら、私たちの絆が世代を越えて長く続いていくことを実感しました。



真澄会室での懇親会では、歴代顧問の井上先生、栗原先生、土橋先生、玉生先生、岩井コーチ、そして30名を超えるメンバーとのお子さんで、楽しいひと時を過ごしました。次回もたくさんの方のご参加お待ちしております。なお、わずかですが当日の会費の一部を真澄会に寄付させていただきました。



ソフトボール部

ソフトボール部OG会 小林 陽子 (79期)

平成27年1月10日(土)毎年恒例のOG新年会を行いました。ソフトボール親善試合は晴天に恵まれ、73期の野球部さんのOB3名の参加もあり、にこやかながらも本格的な真剣プレーとなりました。嬉しく思ったのは、OGメンバーのお子さんたちも一緒にプレーが出

体操部

村田 萌 (102期)



体操部OG会では、毎年恒例に「おけら通信」という会報を発行しています。数名の原稿(原則自由テーマ)、返信はがきの近況報告、年間の活動及び会計報告と、実に内容が豊かな会報なので毎年の楽しみです。恒例の新年会についてもこの

ハンドボール部

近久 紀人 (66期)



現役は1月の県大会、2月の関東選抜大会と勝ち上がり、見事に2回目となる全国選抜大会(3月・愛知県豊田市)に出場した。大会は2回戦で負けたものの持ち前のディフェンス力を発揮し、大阪代表との一戦は大会屈指の素晴らしい試合を展開した。4月には新人生(115期)も13名入部。部の継承も万全の体制が整った。5月の県大会では準優勝を果たし、見事に4年連続関東大会出場(6月・茨城県)を決めたが、怪我人も出るアクシデントの中、2回戦で敗退する。現役が奮闘している姿を見るに付け、現役・指導者・保護者・OBCOG会

野球部

早福 久雄 (57期)



今春、野球部顧問が変わりました。新任は内田雄斗先生。川和高校で遊撃手、大学を経て新栄高校で監督を5年間経験した29歳のバリバリです。内田監督は「OBCとの連携を重視したい。是非グラウンドにお越し頂きたい」と言っています。これからは、学校・父母会・OBCの三本柱で現役を支援出来る体制になると確信しています。6月20日にOBC総会の後、父母会合同で現役激励会を催しました。昨年10月19日第6回県立五校野球部OBC対抗戦が翠嵐Gで開催され、平沼が1回戦シード、2回戦緑ヶ丘5対4、決勝戦立野11対2で勝利、2連覇を果たした。今年も

放送劇部

定仙 勝弘 (59期)

10月25日緑ヶ丘Gで第7回大会が開催される。平沼は3連覇を目指し、毎月第1日曜日母校Gで練習に励んでいる。OBCの参加をお待ちしています。

HBS放送部

伊藤美栄子 (57期)

放送劇部のOBCOGで毎年新年会を開催しています。昭和32年卒(54期)から37年卒(59期)までのメンバーで当初はビクニツクやハイキング、小旅行などを楽しんでいましたが、今は年に一回の新年会だけになりました。それでも一堂に会すると全員が半世紀前の青春時代に戻り、新たなエネルギーを蓄積することが出来ます。全員が古希を過ぎ、最年長はそろそろ喜寿ですがまだまだ元気です。会の最後に「高校三年生を合唱して来年の再会を約束しました。」

バレーボール部

堀口 明 (71期)



現役生の活動状況 女子バレー部 総勢20名で月・水・金と土日で活動中。 【平成27年度試合結果】 ○横浜市民大会 3回戦 敗退 ○関東大会地区予選会 1次、2次予選突破も決定戦敗退

吹奏楽部

鎌田健二郎 (76期)



昭和58年、吹奏楽部の卒業生によつて結成された当団も、今年で32年目を迎えることができました。現在は、誰でも参加できる一般市民吹奏楽団と形を変え、毎週土曜日の夜に集まり練習をしています。去る7月19日には鎌倉芸術館小ホールにおいて、満員のお客様にお越しいただき、第28回吹奏楽演奏会「ぬらひま28」を開催しました。 シェークスピアの戯曲をもとにした「十二夜」や「大脱走」「フランク・シナトラ・ヒットメドレー」などの映画音楽やポピュラーの名曲を演奏しました。来年夏には「ぬらひま29」を開催いたします。 詳細は真澄会ホームページなどでも告知いたしますので、お越しいただければ幸いです。



俳優 工藤 堅太郎 (56期) 著書「役者ひとすじ」 我が人生&交遊録 略歴 S34年3月 横浜平沼高校卒業演劇部出身 同年4月 俳優座附属俳優養成所11期合格 S37年3月 卒業 S37年8月 大映東京撮影所と契約 以後、現在まで53年間、職業俳優として 映画・テレビ・舞台で活躍

電設をデザインする。 安全で良質な工事を心掛け、提供いたします。 SDKK 新興電設工業株式会社 代表取締役 池松 忠彦 (62期) 本社 横浜市西区戸部町3丁目71番地(〒220-0042) 電話045(241)7711 FAX 045(241)7717 営業所 横須賀 厚木 栃木

志賀社会保険労務士・行政書士事務所 志賀一史 (71期) お気軽にご相談ください! 〒220-0023 横浜市西区平沼2-4-7 TEL:045-321-0584 FAX:045-534-4124 E-mail:shiga.kazufumi@gmail.com 労働保険 建設業許可 社会保険 会社設立 就業規則 遺言・相続 残業・解雇 成年後見



51期

卒業60周年同期会

伊藤 勝啓

平成26年10月15日(水) 横浜崎陽軒本店で51期同期会が開かれました。昭和29年3月卒業の私は60周年を迎えましたので、真澄会からは温かい御祝を頂きました。当時の在籍者423名中、当日は67名(男子31名、女子36名)が集いました。開会挨拶、事務局報告、乾杯の後、楽しい歓談に入りました。1年次のクラス単位の円テーブルでは、

お互いの近況、横浜平沼高校時代の思い出話で盛り上がり、座が「校歌」を、春夏秋冬に分かれ競った運動会を懐かしみ「四季の歌」を全員で斉唱しました。



卒業60周年 祝横浜平沼高校51期会懇親会

最後に、今回幹事を担当した1年次の5・6組から、次回担当する7・8組に引き継ぎが行われ、来年の再会を約して、楽しい時間を閉じました。

110期

成人を祝う同期会

鈴木 夢

私たち110期生は、平成27年1月12日に成人を祝う同期会を開催しました。懐かしい仲間との再会を喜び、成人になった喜びを皆で分かち合いました。ビンゴ大会なども行い、終始にぎやかに楽しく時を過ごすことができました。

お忙しい中、当時担任をして下さった先生方や校長先生にもお越しいただき、激励の言葉をかけていただきました。高校生の頃の毎日を思い出すと同時に、成人になったのだな、という自覚も芽生え、新たな人生のスタートラインにしっかりと立つことができました。私たちがこれからそれぞれ道を歩みますが、また出会った時には、高校時代と変わらぬ楽しい時を過ごせる仲間であり続けたいと思います。



横浜平沼高校110期生 成人式祝賀会

100期〜103期

100期合同同期会

102期 朴 安理

平成26年12月6日(土)午後8時〜横浜スカイビル27Fクルーズスクルーズで集まりました。当日は卒業生を含め、吉田先生、荒木先生、江里口先生、菅原先生の4名の先生方にもご出席頂きました。スペシャルゲスト柔道部OB、現横浜市議員の草間剛(97期)さんに乾杯の音頭をとって頂きました。皆様の協力の下、非常に多くの仲間と再会する事ができ、素晴らしい同窓会を開催する事が出来ました。



何時もご親切にオハガキを送って頂きまして有難う存じます。平成26年5月6日106歳にて天寿を全う致しました。生前は女学校時代を思い出してはよく話しておりました。会報は目を通して喜んでおりました。亡くなる朝まで元気にしており、幸せな一生を送る事が出来ました。 渡辺(大西)光子(23期) ご家族の渡辺の様より 私は、家族なし、車椅子、1カ月40万近い高額のホテルに。いとわすかの人生か、貴会にエスコート制度がほしい。埼玉はダメ。 須賀萬亀(31A期) 母石井(林)泰子(33A期)は平成27年1月17日96歳で永眠致しました。長年真澄会報を楽しみに拝読しておりました。ありがとうございます。 ご家族の石井洋子様より 母がお世話になりました。母山口(室伏)和子様(33B期)は平成26年8月14日96歳にて逝去いたしました。平沼出身、母の誇りでした。長い間ありがとうございました。 ご家族の五島昭子様より 卒業してより早何年、現在93歳を迎え元気にしております。友の顔も少なくなり、横浜に行く事も少なくなりまして。 石附孝子(36C期) 義母多田(太田)初子(37期)は2012年4月28日89歳にて逝去致しました。たくさんの事を教えてもらい感謝しております。長い間ありがとうございました。 ご家族の池田秀子様より 廣嶋(和田)晶子(39期)は平成25年10月19日永眠いたしました。県立第一高女卒業を生涯誇りにしております。感謝致しております。 ご家族の池田秀子様より 1年生からの友2人、休学後の友3人、今も折々連絡取り合っております。亡き先生方、お慰みます。 岡田保子(44期)

亡母、高杉恵子(45期)は平成25年11月10日に永眠いたしました。大変永いことお世話になりました。(生前母はなつかしように、学生時代の話を聞いておりました)誠にありがとうございました。皆様どうかお慰み下さい。おすこやかに過ごして下さい。 ご家族の山田由里子様より 毎回真澄会報を楽しみに拝読しておりますが発行に携って下さる皆様に感謝申し上げます。私は県立第一高女の最後の卒業生です。当然のことながら記事の内容に年代の差を感じ、少々淋しく思うことが多くあります。 柳中島(貞子)(45期) 平沼のあと千葉大学医学部、ドイツ在住等々、50歳過ぎてヨコハマの実家へ戻りました。 高橋柳子(48期) 会報ありがとうございます。会費を納入していただき、申し訳なく、でも嬉しく拝見しました。例え高齢者は半額としたら如何でしょうか。 芹澤佳子(48期) 今少し学力向上につとめて頂きたい。孫たちも平沼な人かといつて受けようとしていないのが残念。現役先生方の奮起を期待しています。 藤井イト(49期) 「真澄会報」懐かしく拝受(回送)。満80歳を目前にした昨年11月、左記住所(福岡県糟屋郡)に引っ越ししました。生まれ初めて横浜を離れてしまいました。 佐々木沢井道子(49期) 6月傘寿をむかえました。ありがとうございます。 野島(石川)和美(50期) 会費納入者の増加策として滞納分を免除し、思い立つ 小島温(51期) た年から会費を納めてもらうことにしたらどうか。 長柄雅路(53期) S34年、56期卒、演劇部でした。この度「役者ひとすじ」(我が人生と交遊録)が10月末に出版されます。宣伝よろしく。 工藤聖太郎(56期) 自宅のPC等から振込める方法が追加されると嬉しいですね。そう思っている人も多いのでは?年会費収納率向上策のひとつとしてご検討下さい。 来栖哲夫(64期) ライフワークにしています。手作り紙芝居とオリジナル音楽のコラボでの公演が660回を越えました。鳥取公演に際し、小野校長にサポート頂き感謝しております。 原(車谷)和子(66期) 娘(山田)の入学を期に滞納分を振り込もう、振り込もうと思いつきながら、娘も卒業してしまいいつまでか2通届く事態になってしまいました。申し訳ありません。これは一通にできませんか? 井深(亀山)綾子(82期) 新曲「雨の高瀬川」で頑張っています。カラオケで唄って応援してください!! 千葉山貴公(94期) 2012年迄納入済とか、来年の7月で80歳になります。以後は免除で宜しいでしょうか。取りあえず五千円を納入します。余分は少しですが寄付とさせていただきます。スキーを生業として下さい。スキーを生業として下さい。スキーを生業として下さい。 白井嘉子(通24期) 40歳で近畿大学を卒業しました。 城所弘美(通34期)



ますみ俳句会 地葉幸泰(55期) 第29回ますみ俳句会開催 表記「ますみ俳句会」を6月20日(土)に開催しました。 今回は14名の方々より3句ずつ計42句が郵便にて投稿されました。句会当日の参加者はそのうちの9名でした。 出席者各自が5句ずつ投票を行い、最高得点句は7得点でした。 前回の申し合わせで、投票者全員の句を紹介するという申し合わせになりました。 清水由美子(67期) 天 夕雨の来りし葉の 一色千穂子(59期) 地 誰からも遠く居たき日 渡辺喬子(60期) 地 満天の星の輝や 梅と千子 伊藤岳栄(65期) 人 青葉風樹林の 日影とゆらゆらしおり 中嶋雅美(67期) 人 老犬とそっと寝かせて 花栞榴 地葉幸泰(55期) 人 木陰にはふらふら 夏の珠 野地英人(51期) 人 宋に暑と暑に寒おもふ 七変化 又江豊子(59期) 人 夕暮れやはらるるに 団まれて 堀野陽太郎(51期) 箱根越え 耳鳴りに松幹合わす 野崎敦子(40期) スピーカー 卯の花腐し出港告ぐる 千葉英子(42期) 青田波 遠慮より窓に寄せる 成田清子(51期) 朝日美す 日向葵に序文のごとく 松本道男(通1期) 刀傷 短夜や林龍に残る 千葉淳子(51期) 茶六園 八十路殊縁さらめく 前の9人は句会出席者です。 ますみ俳句会は入会希望者を募っています。希望者は真澄会事務局へお申し出ください。 次回は平成27年11月14日に開催の予定です。

横浜泉区に劇団が生まれました!! 第1回劇団MISA公演 「かくも賑やかな人々」 第一話 『立てば芍薬 座れば牡丹 歩姿は百合の花』 作・演出:内田潤一郎(劇団民藝) テアトルフォンテ (相鉄いずみ中央駅ビル内) 入場無料 10月31日(土)13:00 11月1日(日)11:00 13:00 制作・出演 村瀬菜(53期) 問合せ murase.isao@palette.plala.or.jp 045-811-4791

横濱のおいしさを、創りつづける。 シウマイ弁当 崎陽軒 横浜市西区高島2-12-6 お客様相談室 ☎0120-882-380

おしゃれきもの KIMONO せいね ファッションブティック LIBERTÉ SEITA カジュアルファッション Popuri おしゃれ小物 SEITA PLUS 鎌倉ファッショングループ [SEITA 本店] 鎌倉市小町 2-11-17 ☎0467-23-1011 浅場 山之(通信29期)

### 展示室設置の経緯と現況

#### 《展示室の予算》

平成15年設置以来、歴史資料展示室には、第二室の増設や今年度ではエアコンの室内機改修など一、〇〇〇万円近くの資金が真澄会会計から投入されている。

この金額は毎年三五〇万円を超える予算を費やしている会報発行事業に次ぐ大規模事業である。

このような資金で支えられている歴史資料展示室とは一体何か、展示室は何を目的として、どのような経緯から設置され、効果設置目的は上がっているのか、気になるところであろう。

#### 《展示室設置の経緯》

真澄会では、早くから会員へ歴史的資料の提供を呼びかけ収集・整理を行い、その成果を九〇周年誌の編集や例年の平沼祭での歴史的資料の展示に役立ててきた。

一方、故河内元校長が資料室設置を目的として資料収集を始めて以

## 歴史資料展示室 特集

来、展示室は母校でも一つの関心事となっていた。さらに、総合学習制度の導入を機に特色づくりの一環として「校史教育」が掲げられ、展示室設置を望む声も出てきた。



展示室を視察する黒岩知事

学校と同窓会とが協力して行った百周年記念誌編集と百周年記念歴史資料展は両者の歴史資料展示室実現の動機となった。



企画展の賑わい 平成27年7月

#### 《展示室利用の現状》

平成15年7月

設置費用原資には、百周年記念事業特別会計に展示室設置を念頭に置いて残された資金(約五百万円)と学校側の資金(百八十万円)とが充てられ、学校・真澄会双方からの要請と期待とを担って展示室が誕生した。

#### 《展示室は学校のもの》

展示室は、以下に記すように学校が設置した教育施設で、その管理運営の責任は学校にある。

昨年4月施行された「展示室設置・運営要綱」の第二条は、展示室の設置・目的を次のように規定している。

「学校の歴史を学校、地域に伝えること及び学校の特色づくりの一環である「校史教育」に資すること」を目的として展示室を設置する」

「展示室の管理、運営は学校が行い、真澄会がそれに協力する」。

#### 《真澄会が費用を負担する理由》

学校のものに何故真澄会が資金を提供し、運営に係る諸々の業務を負担しているのか、それには相応の理由が無ければならない。

真澄会の事業目的は、会則の第一に謳われているように、同窓生相互の親睦の促進と母校の発展に寄与することである。

「設置運営要綱」の第二条には、次の事項も規定されている。並びに在校生、同窓生の交流の場とする。

このように資料展示室の目的には、学校だけでなく真澄会の事業目的も含まれている。それ以前に、当然のこととして資料展示室の目指すものは学校の発展であり、真澄会会則が謳う第二の目的「母校の発展に寄与すること」と重なる。

#### 《展示室の運営費・業務》

以上、展示室を支える同窓会の立場と学校との関係を、制度面・規定面から

沢知事、平成26年3月には黒岩知事のご来場をみている。

ら見たものであるが、展示室が学校の教育施設である以上、展示室の予算は学校負担、業務も学校職員が当たるのが筋である。しかし、現状は予算も業務もその大部分は同窓会(真澄会)の負担により行われている現実がある。

本県の県立高校で展示室を設置している学校の数は、本校のほかに数校を数えるが事情は各校ともほぼ同様である。

資料室の果たしている役割からすると運営費の公的資金での支弁も考えられて良いと思われるが、財政事情等県立高校を取巻く情勢はそれを可能にするには程遠い状況であり展示室担当の職員も発令されていない。

#### 《学校と真澄会との連携》

同窓会の負担で設置運営されている現状は、以上の事情に加えて、展示室設置の経緯にも起因していると思われる。

一般的に、展示室は学校側の必要性よりは、同窓会側の主導で設置されてきた側面があり、運営上での両者の温度差を産む原因となっている。

幸いに母校の展示室は、学校・同窓会双方の要請により発足した。また、学校教育の上で、「校史教育」という明確な位置付けがなされていることから、展示室に対する学校側の姿勢には積極性があり、他校に先駆けて「歴史資料展示室運営委員会」が展示室発足と同時に置かれ、現在も定期的に開催され、展示室運営のため、学校と真澄会との協議の場となっている。

#### 《展示室の将来展望》

県立高校の展示室は設置当初は、その機能の有

効性や学校での施設の位置付けなどを、疑問視する向きもあったが、知事の来場、好意的な新聞記事、入場者の着実な伸びなどから、学校の教育施設としての位置付けも明確になった。

本県より歴史の古い高校を抱えている他県のこの種の展示施設では、運営主体が公益法人となっているところも見られる。

展示室は学校教育のための公共性の高い施設であり母校展示室運営への、同窓会(真澄会)の協力もまた、多分に公共的な性格を帯びている。

#### 《学校と真澄会との連携》

同窓会の負担で設置運営されている現状は、以上の事情に加えて、展示室設置の経緯にも起因していると思われる。

一般的に、展示室は学校側の必要性よりは、同窓会側の主導で設置されてきた側面があり、運営上での両者の温度差を産む原因となっている。

幸いに母校の展示室は、学校・同窓会双方の要請により発足した。また、学校教育の上で、「校史教育」という明確な位置付けがなされていることから、展示室に対する学校側の姿勢には積極性があり、他校に先駆けて「歴史資料展示室運営委員会」が展示室発足と同時に置かれ、現在も定期的に開催され、展示室運営のため、学校と真澄会との協議の場となっている。

このように資料展示室の目的には、学校だけでなく真澄会の事業目的も含まれている。それ以前に、当然のこととして資料展示室の目指すものは学校の発展であり、真澄会会則が謳う第二の目的「母校の発展に寄与すること」と重なる。



放送劇部 全国高校放送コンテスト第一位 (昭和三十四年)



野球部選抜神奈川大会で準優勝の記事 (昭和二十七年春)

昭和20年5月29日、横浜は朝から米軍B29爆撃機50機による空襲を受け、多くの市民が犠牲となり、市街地のほとんどが焼け野原となった。

この日の空襲による横浜市の被害は甚大で、爆撃の主要目標の一つが平沼橋であったため、本校付近も大変な惨状を呈した。

その当時の本校内の悲惨な様子を創立百周年記念誌(学校編)から引用してみる。

## 写真で見る横浜大空襲

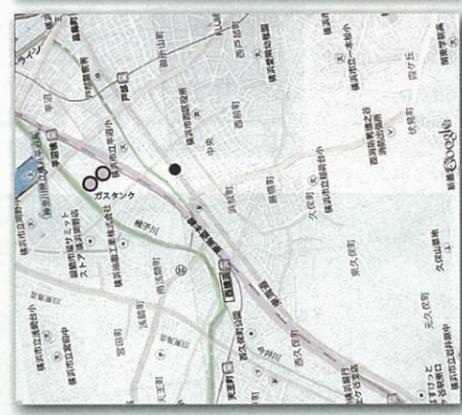
### ―常設の展示品から―

引き継いだのが午後10時近くであったと思われ、最終病院に指定されていただけに、多数の傷者が収容されていたのだが、満足な照明のない暗闇の教室内では、その実数もつかみがたなく、初めは机の上に焼けこげた衣装のままに横たわっている重症患者の回診に追われた。(中略)

昭和20年5月29日、横浜大空襲。多くの市民が犠牲となり、消失を免れた校舎は負傷者の収容所となった。

昭和20年8月15日終戦。昨日までは「是」が、明日からは「非」となる急変で、多感な生徒の戸惑いは大きかった。『進駐軍を恐れて婦女子の戦後疎開が行われた。10月1日授業が再開されたが、GHQの指令で修身などは停止、教科書も回収されたり、墨を塗って使用されたりした。このような教育環境の混乱の中で、生徒の自主・自治活動が導入され、部活動が再開し、しだいに学校・生徒は明るさを取り戻していった。』

度重なる修業年限の変更を経た高等女学校制度も、新制中学、新制高校へと変わり、現行の学校制度が発足した。そこで、今年度は戦後70年に当たり、終戦を挟んだ戦中・戦後の激動の時期、教育理念や価値観の激変、学校制度の変革など、様々な変動をくり抜いた学校と生徒の様子を、当時の生徒の体験を中心に展示することとした。



## 企画展

「戦後七〇年 戦中・戦後の学校と生徒」

大陸の戦線は拡大し、昭和16年12月8日ついに太平洋戦争突入。学校も戦時色が濃厚になり、農家への勤労奉仕や工場への勤労動員が実施された。必修科目であった英語が19年には廃止され、テニスコートも菜園となった。

昭和20年5月29日、横浜大空襲。多くの市民が犠牲となり、消失を免れた校舎は負傷者の収容所となった。

昭和20年8月15日終戦。昨日までは「是」が、明日からは「非」となる急変で、多感な生徒の戸惑いは大きかった。『進駐軍を恐れて婦女子の戦後疎開が行われた。10月1日授業が再開されたが、GHQの指令で修身などは停止、教科書も回収されたり、墨を塗って使用されたりした。このような教育環境の混乱の中で、生徒の自主・自治活動が導入され、部活動が再開し、しだいに学校・生徒は明るさを取り戻していった。』

## 細水写真館

細水 亨 (63期)

〒220-0023 横浜市内西区平沼1-33-18  
TEL (045) 321-4202  
FAX (045) 321-4255



OB・OGのみならず、いつも応援ありがとうございます。



ハンドボール部は、2年ぶり3回目の全国選抜大会出場、4年連続での関東大会に出場いたしました。現役生の活躍はOB/OG会のWEBサイトに掲載しております。OB/OG会の年会費にて現役生支援を行っております。ご支援どうぞよろしくお願い申し上げます。

平沼高校ハンドボール部OB/OG会 <http://hiranuma-handball.org> 平沼ハンドボール 検索

今回ご登場いただいたのは音楽研究者、藝大特任教授、客員教授を歴任され、一昨年度定年退官された瀧井敬子さん(62期)です。瀧井さんは明治の文豪たちの西洋音楽受容に関する研究のスペシャリスト。母校校歌の作曲家幸田延さんの研究者としても知られています。聞き手は松永弘子(57期)と遠藤玲子(71期)の二人。

## 輝く同窓生

同級生によると理数系にとても秀でていたとのことですが、藝大に進んだ動機は

音楽の佐藤一夫先生との出会いがあり、強く藝大進学を勧められ、家族の理解もあつた。手塚幸紀さん(55期)以来、藝大への入学者がいなくなつたので、一人入学すれば後に続く者が出てくるという先生の思いがあつたようだ。受験に際して様々なバックアップをしていただいた。受験一色に

引張られていったが、今もこうして仕事が続けられ、佐藤先生の見抜く力に敬服している。一浪で藝大音楽科へ進学されました。音楽研究者として歩まれた道は

若い頃はヨーロッパの音楽作品や理論に関する研究ばかりだった。しかし、藝大に新しい奏楽堂が落成したのを機に、明治の文豪たちの視点から日本の音楽史を見直すことに始めた。本の執筆や論文等の発表だけでなく、レクチャー・コンサートやオペラ公演を積極的に行うようになった。

大学と社会の連携を担っていた時は、藝大と三菱地所の共同主催による「藝大アーツ・イン・東京の内」を総合プロデューサーとして実現した。

母校校歌はユニークで、その旋律は今でも新鮮。大切にしなければいけないと思う。今力を入れていることは、一つは夏目漱石の洋楽受容に関する音楽学研究とレクチャー・コンサート。もう一つは芸術の力を借りて、障害者と高齢者に生きる幸せと勇気をあたえ、特に介護者には心のケアに役立つ企画を立案・実行すること。そのために、「グラチア・アートプロジェクト」(芸術×福祉)「クラチア」は瀧井さんの洗練されたチームを結成。2015年3月、社会福祉法人「旭川荘」(岡山県)の創立60周年記念バリアフリーオペラ「アマト



**瀧井 敬子さん(62期)**  
東京藝術大学卒業、同大学院修了(音楽学)。著書に『漱石が聴いたベートーヴェン』『オペラ学の地平』『幸田延の滞欧日記(共著)』『森鷗外対訳オペラ「オルフェウス」(校訂編著)』など。論文、翻訳の単行本、新聞・雑誌への寄稿多数。森鷗外対訳オペラ「オルフェウス」の初演及び再演、《ゼッキンゲン》のトランペット吹き初演に成功。秋のフェスティバル「藝大アーツイン東京丸の内」(藝大・三菱地所主催)の総合プロデューサーを2013年まで7年間務めた。東京藝術大学客員教授、特任教授を歴任し2014年に退官。くらしき作陽大学特任教授。「福祉×芸術」の活動に近年とりわけ力を注いでいる。

**第11回バリアフリーコンサート 夢・響き愛**  
主催 NPO法人 町田楽友協会  
2015年11月1日(日) 町田市民ホール  
17:30~  
曲目 プラームス 大学祝典序曲  
交響曲第3番  
クラシックファンタジー  
問い合わせ ☎042-748-5077  
<町田楽友協会>  
平成27年度町田市芸術功労賞受賞  
土井(山口) 美智代さん(56期)  
ヴァイオリン・ピオラ奏者 町田楽友協会で活躍

若い同窓生の作品展・問い合わせ横濱平沼高校 橋本先生へ  
TEL 045(313)9200

**アートの展**  
卵たち  
Charity Exhibition "TAMAGOTACHI" presented by Young Artists in Japan for Kyoto University iPS Cell Research Fund

2015年9月18日(金) ~ 9月24日(木)  
11:00~18:00 会期中休館 休館日は17:00まで(入館無料)  
トークセッション「iPS細胞について」  
9月18日(金) 14:00~16:00  
9月24日(木) 11:00~13:00  
京都大学iPS細胞研究センター 展示会場

## 先輩セミナー 2014

(花巻第65号からの抜粋)



写真提供 石谷教諭

11月13日(木)、先輩セミナーが1年生を対象に行われました。例年は複数の講師により少人数単位で行われていますが、今回は元TBSアナウンサーの吉川美代子さん(70期)が「声と言葉の力」と題して講演、全員が体育館で受講しました。吉川さんは昭和48年に本校卒業、早稲田大学に進学。その後、TBSアナウンサーとして活躍、平成26年5月に定年退職しました。講演の要旨は以下の通りです。

### 声は世界でただ一つ

普段何気なく声を出している。簡単に声が出せると思っているだろうが、実は声というのは世界でただ一つ、自分だけのものである。その人の体格・骨格

筋肉の厚み・付き方、声は体の中で、ヴァイオリンやギターのように響かせるので、体全体が共鳴する場所。共鳴腔の大きさ、口の形の大きさ、歯並び、舌の形、全てが合わさってその人の声になる。それらが似ていると、声も似る。だが、似ていても全く同じわけではない。つまり、声はその人自身の人格とも言える。

### 「ゼロの声」

言葉は声によって相手に伝わる。言葉がどんなに素晴らしいとしても、声に大事にしないと意味がない。では、どうやって相手の心に響くのか。誰しも声に色々な幅を持っている。

オペラ歌手のような声や、ハスキーな声など。だが、その人の持つ声の幅の中で、他人が聞いたときに不快にならない声は必ず出る。

### 心からの言葉

声で言葉を話すが、言葉というものは単なる音ではない。私が「ひらぬま」と言つたときには、自分の母校「神奈川県立横浜平沼高等学校」をさしており土地の名

前ではない。しかも、たった4つの、1秒くらいで言ってしまう言葉の中に自分が通つた3年間、友達の顔、先生の顔、当時の校庭の様子、すべてが凝縮されている。コミュニケーションは言葉と言葉のキャッチボールであり、一番大事なのは心からの気持ちを含めた言葉である。

### 自分の声と表情

話すときは相手の目を見るのが基本である。人間は言葉だけでなく、声のトーン、強弱、大きさ、響き、顔や目の表情、仕草、その全部から、その人が何を言いたいのか察することができる。それは誰もが持っている能力である。顔と顔を合わせ相手の肉声や表情を相手に伝えること、この気持ちだけは伝えた、これだけは言いたい、このことは恐れず、相手の目を見て自分の声をしっかりと相手の耳に届けることが大切である。

似た環境にいるクラスメイトや幼馴染には分かつてもらえることが、年の離れた他人には分かつてもらえないことがある。他人と話すときには相手の立場も考えて自分の話がわかりやすいようなら、それを補足説明する優しさも必要になってくる。コミュニケーション能力とは、いかに相手の立場になって考えられるかなのである。

### 無表情な声

最近多くの方がスマホや携帯を持つていて、本当にスマホや携帯のメールだけのやり取りに慣れてしまつた。段々と自分が無表情になる。友達が嬉しそうに話すと、こちらも自然に笑顔になり相手が目を見て話すと、話しても中身が無かつた。ただの音である。つまり

せつとも悲しい顔になってゆく。つまり、相手が無表情に話すと、こちらも不思議と表情が無くなつてくるのだ。皆さんは、地球上でただ一つの自分の声を持っている。地球上でただ一つの自分の笑顔がある。地球上で自分だけが流れる涙がある。どうか人間らしい人間同士のコミュニケーションを取ってほしい。声はあなた方自信の人格なのだから。

### 大切な教養

イギリスの貴族によると英語での話し方を聞くと、きちんと教育を受けてきたかが分かるそう。日本人は片言の英語でも一生懸命に相手の立場になって伝えようとする。そこに日本の教育の凄さを感じるといふ。平沼高校でしっかりと教養を身につけていけば、片言だろうが発音が少し変だろうが堂々と話せるはずなのだ。それが大事である。どんなに早く英語が話せても中身が無かつたら、ただの音である。つまり

音を出すだけでなく、その言葉の意味を十分理解しているかである。だから教養とは本当に大切なものなのだ。

### 今後の実践

ゼロの声にいろいろな事がプラスしていくと、何十通りの表現に変わっていく。声の微妙な高低、強弱、長短で分かるものが平板化していくと顔が無表情になるのと同じように会話全体が無表情になる。おおげさにアクセントや強弱をつけるとは言わないが、それをやらないと言葉の微妙なニュアンスが失われてしまふ。もっている若さをその身体全体で言葉表現して欲しい。それを実践していったら、もう少し日本全体が明るく元気になっていくような気がする。子供が小さい頃から嬉しそうな顔で笑う、大声で笑う、これが一番いい世の中である。

平成27年度講演日  
平成27年11月5日(木)  
枝元なほみ(70期)  
料理研究家  
石渡梓男(57期)

## 編集後記

真澄会報は今年57号を迎え新しい紙面に生まれ変わった。従来の紙面6頁を8頁に全員カラー仕様となつた。そして同例会・OB会開催案内や真澄会関係者の企業広告用スペースを新設し、各頁内容を更に充実させる紙面リニューアルを行った。2面増頁となったことで各頁とも余裕のあるスペースに思い通りの原稿を詰め込むつもりで作業を進めた。が、広告挿入を考慮し写真と文章がバランス良く並び紙面割付けは理想通りには進まない。試行錯誤の繰り返しで、試行錯誤でこの苦闘も消えて新装会報57号の編集が終わる。終わりは始まりでもあり、始まりは終わりであります。次号に「さうご期待」。

広報委員長  
石渡梓男(57期)

**第9回青春かながわ校歌祭**  
平成26年10月12日(日) 横須賀芸術劇場  
合唱団100名(うち現役生3名)  
曲目 校歌、花の街(団伊玖磨さんへのオマージュ)  
指揮 吉田孝古磨さん(50期) 野村慎一郎さん(75期)  
ピアノ 深井 利枝さん(85期) 村上 静香さん(92期)  
今回も際立つ美しい歌声が会場を魅了しました。

**第10回青春かながわ校歌祭**  
平成27年10月17日(土) 秦野市文化会館 (TEL0463-81-1211)

写真 村田 久芳(62期)  
第66回鎌倉市展(平成26年度) 写真部門 優秀賞  
「光と影」ザルツブルグ 2014. 3. 24

**会員作品紹介**  
写真・絵画・書・アート作品など募集しています。

第33回明日をひらく絵画 上野の森美術館大賞展  
優秀賞 産経新聞社賞「きせつつめぐるさかすき」  
ミクストメディアAS100

絵画 今井 陽子(77期) 本名 乾 陽子  
第33回明日をひらく絵画 上野の森美術館大賞展  
優秀賞 産経新聞社賞「きせつつめぐるさかすき」  
ミクストメディアAS100

**こんにちは!“真澄会事務局”です。**  
事務局員は、毎週火曜日に在室して事務を行っています。ホームページの更新は隔週です。(スタッフ須藤伸司(61期)・小林陽子) 連絡事項、問い合わせ等10時~15時の間にお電話ください。  
Tel/Fax: 045-311-3356 (Faxも火曜日のみの受信となります。)  
E-Mail: jimukyoku@masumikai.org  
総務スタッフ: 遠藤玲子、中村晴美(71期)  
スタッフ募集中です! 事務・広報紙取材・歴史資料整理 (交通費は支給します)

小林 陽子(79期) 遠藤 玲子(71期) 岸村 晴美(71期) 高橋 晴美(75期)